

写真展開催致しました。



開催時期: 令和4年3月8日(火)~3月15日(月)
開催場所: そごう千葉店 地下フォトギャラリー
展示内容
【福島民報社】「福島の記憶」
【フォトボイス】被災当事者が撮った写真と声
【千葉県内の支援団体活動紹介】パネル展示
主催: 福島県県外避難者相談センターちば
協力: 福島民報社、NPO法人フォトボイス・プロジェクト、千葉県内支援団体



写真展では、今もなお、自宅を離れ、遠く千葉で避難し暮らす人たちが約2,000名いらっしゃることや震災当時の様子、今現在、復興に向かっていく様子などの写真や支援団体のパネルなどを展示。通路を通りかかった方々が足を止めて、じっくり観てくださっていました。

東北と千葉の出逢いが広がりますように

エンジョイ

縁 joy

Vol.84

2022.4.1

発行: 認定特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
連絡先: 〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12
☎043-303-1688
E-mail npo-club@par.odn.ne.jp
発行部数: 2,000部
福島県から千葉県へ避難されている方の数: 2,015名 (令和4年2/8現在)

東日本大震災、福島第一原子力発電所事故から11年。千葉県での暮らしに少し慣れてきたものの、避難元に帰れるなら帰りたいと思っておられる方は少なくないかと思えます。そうした思いを持ちつつも、今の暮らしを大事にしていただけたら。「千葉の見どころ・楽しみどころ」をご紹介します。

「千葉の見どころ・楽しみどころ」



上空から見た千葉市の海岸線

伊藤博夫さん千葉県在住 31年目
2015年~2018年の3年間
浪江町復興支援員として支援の経験も
おありになる伊藤さんに
「千葉の見どころ・楽しみどころ」を
教えていただきました。

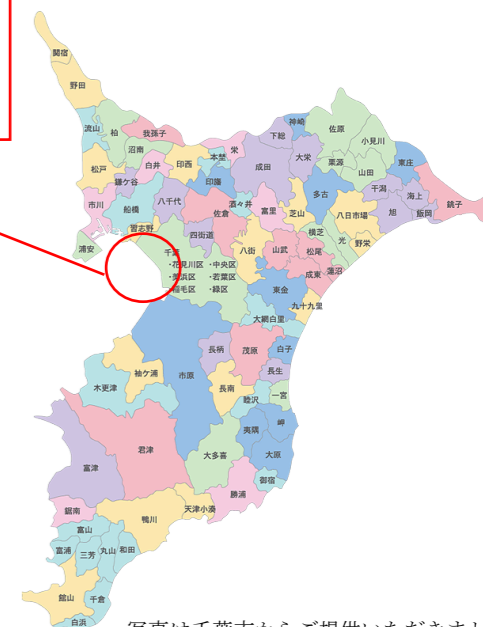


千葉市の工場夜景

千葉市のベイサイドエリアは、人工海浜や千葉ポートパークなどがあり、とても魅力的なエリアです。特に千葉市の人工海浜(幕張の浜、検見川の浜、いなげの浜)の総延長は、4,320mで人工海浜としては、日本一の長さを誇っているそうです。海浜エリアは、釣りやジョギング、テニスなどのスポーツ、バーベキューなども楽しめるほか、花の美術館があり、こちらは特に女性に人気があります。駐車場も完備しているので、皆さん、お気軽にお出かけ下さい。



千葉中央港客船棧橋



写真は千葉市からご提供いただきました。

身体と心の小ネタ 第六十八便
☆ヒトとヒトとの穏やかな接点を求めての八策
対人場面においてヒトは「してほしくないことをされる」あるいは「してほしくないことをしてもらえない」場面に直面すると、脳と身体との反応として、つい、「乱暴」なコミュニケーションを用いてしまう傾向にあるといえます。これは、右記の状況が生命体にとってはストレスになるので、身の安全を確保しようと、目の前からいち早く除去しようとするの反応なのだそう。コロナ禍においては、外出自粛や保育園の休園などにより、ルーティンが刻めなくなる中、始終同じ顔を突き合わせるというキレる沸点が高くなり、トラブルも増えることでしょう。けど、そのストレスを「(ひ)否定する」「(ど)怒鳴る」とか「(い)いやみをいう」「(お)脅す」「(と)問いただす」「(ぎ)疑問型でいう」「(ば)罰する」「(な)しなじる」「(頭)文字づつりは「(ひ)どいおとぎばなし」という感情に任せ、「乱暴」なコミュニケーションで発散してほしくないものです。そうしてしまいう前にいったん立ち止まって離れ、落ち着きましょう。「(ひ)どいおとぎばなし」を意識して、これら八枚の行動(ことば)の切り札(カード)を切りそうになったら、意識的に「気づきスイッチ」を入れて「ほまれかがやきを」のカードに切り替えること。これができたらいいですね。「ほまれかがやきを」は、「(ほ)褒める」「(ま)待つ」「(れ)練習」「(れ)一緒にする」「(か)代わりにしてほしいこと(の)明確化」「(が)環境づくり」「(や)約束」「(き)気持ちに理解を示す」「(を)落ち着く」の八枚のカードです。これをひとりですべて完璧にできるよう気負わなくてもいいです。家族、コミュニティのみんなの合言葉とできれば、お互いに声かけあう。穏やかにつながり支えあえられる人に優しいコミュニケーション文化が醸成できると思います。

一般社団法人 千葉県公認心理師協会

情報紙「縁 joy」は、福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金を活用して東日本大震災で被災し、千葉県内で暮らす皆様の不安や悲しみが少しでも軽減されるようそして、被災者に対する理解が広まることを願って作成・発行しています。